



青年部では毎年、「上京運動」として首都圏の小学校を訪問し、5年生の社会科の授業で米作りの出前授業を行っています。今年は6月12日と13日、東京都と神奈川県の小学校28校を訪問しました。昨年より訪問先が4校増えた今回は、小野貴之委員長はじめ青年部員27人、女性部員3人、JA職員3人の33人が参加しました。

5月下旬に「はえぬき」の苗を送り、児童が植えたバケツ稲や学校田の生育状況を確認し、水位や水交換の頻度、中干しの時期などをアドバイスしました。その後「庄内地方の米作り」と題したDVDで生育過程と農作業を紹介。部員が庄内の農畜産物生産や米の安定供給について説明しました。

児童からは「稲の病気にはどんなものがあるのか」「1つの殻の中に何粒できるのか」「おいしいお米を作るためにどんなことをすればいいか」など多くの質問が出ました。

小野貴之委員長は「児童と米作りを通して交流することで、農業への知識と理解を深めてほしい。農業と庄内に興味を持つきっかけにもつなげたい」と話していました。

青年部では今回訪問した小学校の児童を対象に、7月31日から8月2日の日程で「田舎まるかじりツアー」を企画しています。米に関する施設の見学や農家への民泊、餅つき体験・泥んこバレーなどを行う予定です。



▲稲の生育状況を確認する青年部員と児童
(左=横浜市立不動丸小学校、右=横浜市立六浦南小学校)



▲米作りについて説明する青年部員
(左=横浜市立若葉台小学校、右=横浜市立都田西小学校)

女性大学 マナーメイト2018



開校式 第1回講座

【テーマ】

- ・家の光読みどころ紹介
- ・防災ブレスレット作り

開催日：6月20日（水）

場所：JA本所大会議室



開校式では安藤良三専務が「女性大学で学んだことを生かし、地域のリーダーとして活躍してほしい」と受講生を激励しました。



第1回目の講座では、家の光協会の小松創一氏を講師に迎え、家の光の読みどころを紹介しました。



今年も当JAでは女性大学を開校しました。33人の受講生が「食・農・健康」をテーマとした講座を通じてJAへの理解を深めるとともに、全7回の講座で仲間と元気に楽しく学んでいきます。

続いて家の光7月号掲載の防災ブレスレット作りを学びました。丈夫なロープ「アウトドアコード」を使ったブレスレットは、非常時にはほどいて応急手当てや荷物の固定などに使用することができる優れたもの。受講生は頑丈なロープをうまく編みこみ、ブレスレットを完成させていました。



次回は7月25日(水)熱中症予防についての予定です。